

## 平成31年第1回さくら市議会定例会一般質問順番

平成31年2月22日（金）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1番	石原 孝明 議員
2番	角田 憲治 議員
3番	笹沼 昭司 議員
4番	櫻井 秀美 議員

平成31年2月25日（月）午前10時～ 3人

質問順番	質問者名
1番	若見 孝信 議員
2番	福田 克之 議員
3番	加藤 朋子 議員

石原孝明 議員

1. 農地利用と農産物売上1.2倍推進について

本市の農地利用集積に農地中間管理機構の利用状況は。また、農産物売上1.2倍への取り組み内容について伺う。

- ①現在担い手に農地が機構を通し集積されている面積は。
- ②市やJAなども含めた利用権設定されている面積と集積率はどのくらいあるのか。
- ③現在遊休農地の対策は。
- ④農産物売上1.2倍に向け取り組んでいるものは。

答弁を求める者 市長

2. 上水道事業の整備について

現在進めている未普及地域である氏家北東部地区に集中して水道拡張工事が進められているが、その進捗状況について。また、老朽化している配管の対策について伺う。

- ①北東部地区の延伸は予定通り進んでいるか。
- ②未加入者に対して、加入免除期間の延長や工事費を定額とすることはできないのか。
- ③老朽化した配管はどのくらいあるのか。また、それらの改修に費用はどのくらい予定しているのか。

答弁を求める者 市長

角 田 憲 治 議員

1. 市長の年頭所感について

- ・ 全般的な内容の説明を求める
- ・ 企業誘致について
- ・ わくわく保育園について
- ・ 課外「さくらスクール」と学力向上について

答弁を求める者 市長

2. さくら市公共施設等総合管理計画について

- ・ 長寿命化への対応策について、今日までの取り組み状況と今後の方向性は
- ・ 予算、国・県関係の補助等について

答弁を求める者 市長

笹 沼 昭 司 議員

1. 公共交通について

「改正地域公共交通活性化・再生法」においては、市町村が中心となり、公共交通ネットワークを再構築することが謳われており、また、さくら市都市計画マスタープランでも道路や公共交通などにより、生活に必要なサービスを利用しやすい都市の形成を基本的な考え方の一つとしている。さらに一方においては、ますます高齢化が進み、運転免許証の返納者も増えている。

- ①乗合いタクシーの運行状況と課題は。
- ②地域公共交通会議や運営協議会などで、公共交通空白地になる可能性の高い地域などでの地域からの要望や交通手段の希望などを確認する調査はなされているか。
- ③交通事故防止のため、高齢者運転免許返納者への支援として敬老乗車券を考えてはどうか。
- ④栃木県はシェアリングエコノミーのひとつとして考えられるが、公共交通空白地の解消のために、住民やNPO法人等が自主的に送迎サービスを行う「地域共助型生活交通ガイドライン」策定したが、市はどう考えているか。

答弁を求める者 市長

2. 置き勉について

文科省は「置き勉」を実態に即して柔軟に対応するよう通知を出した。そこで伺います。

- ①教育委員会はこのことについてどのように考えているか。
- ②ランドセルやカバンが重くなったと言われているがどういう状況か。
- ③置き勉は認めているか。また何かルールがあるか。
- ④タブレットを使ったデジタル教科書の導入についてはどのように考えているか。

答弁を求める者 市長

3. 老々介護について

在宅中心の介護予防・生活支援サービス事業が始まり、介護サービスの訪問介護において、掃除・洗濯・調理などの日常生活支援の生活援助が増えている。公的なサービスだけでなく、地域の力を活用しながら高齢者を支えていく地域包括ケアシステムの中で、新たな介護人材の育成について、市が取り組む計画はあるか。また今後の地域包括ケアシステムの進化をどう考えるか伺う。

答弁を求める者 市長

4. 中小企業の振興について

「さくら市中小企業及び小規模企業振興基本条例」が平成30年7月1日に施行されたが、支援策等の提供は、この半年間で中小企業・小規模企業に対して、どのようになされたか伺う。また市ではこの条例に基づき、中小企業の振興について、今後どのような計画を考えているか。さらに企業の雇用の確保と増大について、人手不足の現状をどのように考えているか。伺う。

答弁を求める者 市長

櫻井秀美 議員

1. 入管法、TPP対策について

- ①総合的な国際戦略の考えはあるのか
- ②市内企業の海外展開支援や農産物の輸出強化及び支援の考えはあるのか

答弁を求める者 市長

2. 道の駅きつれがわ前期1,400万円の赤字対策について

- ①第4回定例会での一般質問で前期の1,400万円の赤字を踏まえ、対処したいとしたが、その対策は
- ②貸借対照表、損益計算書の検証

答弁を求める者 市長

若見孝信 議員

1. さくら市職員の健康と働き方について

- ①合併後の職員人件費と物件費の賃金の推移と、他の自治体との比較について
- ②時間外勤務の状況、特に多い部署、その対応策について
- ③ストレスチェックの結果、メンタルでの長期休業者の状況
- ④中途退職者の状況と、その理由について
- ⑤職員が意欲をもって働きやすい環境整備に向けた取り組みの方向について

答弁を求める者 市長

2. 子育て環境の進化について

①児童虐待等の現状と対策について

- ア さくら市の児童虐待の認知件数の推移と、虐待の内容別分類、一時保護等の件数
- イ S S W（スクールソーシャルワーカー）の対応件数とその内容について

②妊産婦ケア、産後ケアについて

- ア「子育て世代包括支援センター」の活動実績について
- イ 産後ケア事業の利用実績と利用者の声について

答弁を求める者 市長

福 田 克 之 議 員

1. 市民活動支援センターについて

①今後の考え方と進め方について

センター開設に向けての準備や、市民への周知など、現在の進捗状況、今後の進め方について問う。

答弁を求める者 市長

2. 生活困窮者自立支援事業について

①現在の進捗状況について

②今後の考え方と進め方について

生活困窮者自立支援事業は、本市で実施している主な事業が、2019年度社会福祉協議会に委託されるが、必須事業、任意事業含め、どのようになるか、現在の進捗状況、今後の進め方について問う。

答弁を求める者 市長

3. バイオマス産業都市について

①現在の進捗状況について

②今後の考え方と進め方について

地域特性を活かし、本市がバイオマス産業を軸に環境にやさしいまちづくりを目指す上で、現在の進捗状況、今後の進め方など、環境全体からの政策から問う。

答弁を求める者 市長



加藤 朋子 議員

1. 障害者施策について

2020年東京パラリンピックを控えて国は「第4次障害者基本計画」を策定し、社会的障壁除去を強力に推進する方針である。さらに栃木県では2022年に全国障害者スポーツ大会が開催されるが、当市の合理的配慮や差別解消施策は充分と考えるか。

- ①バリアフリー解消は
- ②手話言語条例の制定は
- ③障害者スポーツの推進は

答弁を求める者 市長

2. 幼保無償化への市の対応は

国は10月から幼保無償化を開始する予定であるが、市はどのように対応していくのか。

- ①幼保無償化により何がどう変わるのか。
- ②新たに発生する需要の予測と対策は。
- ③待機児童解消策との兼ね合いは。

答弁を求める者 市長

3. 地域共生社会をどう実現させるのか

国が進める「地域共生社会」とは、既存の制度の枠組みを超えて、支援を必要とする人を地域全体で、地域のマンパワーを活かして支え、問題解決を図っていくものと聞くが、市としてはこれをどのように進めていくのか。

答弁を求める者 市長